

☆ブロック会議、地方協会情報

☆第31回赤松賞4氏が受賞

☆この頃、イスラエル事情(パートⅡ)

第90号 2002年6月1日

(平成7年3月17日第三種郵便物認可)

月刊

民社

発行 民社協会

編集発行人 田中 慶秋
〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目20番9号
第5須賀ビル6階
TEL (03) 3501-5111 毎月1回1日発行
E-MAIL minsha@mx1.ttcn.ne.jp
購読料 年間 1,000円
(会員の購読料は会費の中に含む)

友愛連絡会との合同幹部会開催

5月13日東京グランドホテルにて、民社協会常任役員と友愛連絡会幹部との合同幹部会が開催された。

会は田中専務理事の進行で行われ、まず最初に米澤民社協会会長と高木友愛連絡会会長の挨拶が行われた。



友愛連絡会との合同幹部会

次に議題へと移り、報告事項として田中専務より

「政策研究フォーラム・21世紀」(以下政研21)の開催状況及び今後の展望について説明が行われた。

続いて協議事項として以下のことが議論された。

- ① 選挙態勢の対策について
- ② 政策研究フォーラムへの新理念の委託について
 - ①については中野理事長より国会情勢として有事法制への取り組みや、郵政問題や憲法問題にもふれながら地方議員選挙及び次期衆議院議員選挙見通しについて説明を行い協力の要請を行った。

また統一地方選挙を来年に控え、更に連携を強化すべき各地方協会及び地方連絡会にて早急に準備態勢を整える。

②については田中専務理事が政研フォーラムに新理念の研究を委託し、年内にも纏めてもらうとの説明を行った。

以上が決定・確認された。

最後に次期衆議院選挙の時期と「政研21」についての設立趣意及び概略、今後の活動方針などが議論され、今後も更に相互の結束を深めるべく交流を行っていくことを確認し会は終了した。

幹部会議終了後、同ホテル内で場所を移し、政策研究フォーラムの関係者や「政研21」参加国会議員などが集まり懇親会が開催された。

会の冒頭、米澤会長が挨拶を行い、「民社・友愛双方の役員が更に頻りに協議し、懇談し新しいエネルギーを溜め込んでいくことを目的とし本日第1回目が開催された。懐かしい顔が一堂に会し、このような会合ができて大変嬉しく思う。本日は有意義な会合になったと思う」との主旨の挨拶を行った。

続いて友愛連絡会より湊木剛会長が挨拶を行い「次の衆院選はいつになるか分からないが、友愛連絡会に所属している組織の人たちから選挙の時以外会う機会が少ないとの声を聞く本日はこのような顔合わせをすることができ感謝

する。労働組合についてもいろいろな感覚・意見があると思うが、いろいろなところでご示唆を戴き、ご指導、ご協力を賜りたい」とする主旨の挨拶を行った。

次に来賓として堀江湛政研フォーラム理事長が挨拶を行い「いよいよ総選挙も近い感がある。今のままで総選挙を行って良いものか疑問である。その前に政界再編という大きなやるべき仕事があると思われる。今回の北朝鮮亡命者・潘陽総領事館事件を見ても自由という問題を乗り越し、中国における日本の大使館の本質的な立場を現しているのではないかと」また「政界・官界・財界からいろいろな恥部、問題が日々あきらかになるなかで政界再編の必要性を強く感じる。今こそ民主主義と自由の為に発展してきた組合と政党にご活躍願いたい」との主旨の挨拶を行った。

その後、和やかに会は進み「政研21」に所属する衆参各議員による自己紹介等が行われた。



合同幹部会の懇親会の模様

最後に当協会の玉置理事長代理が挨拶に立ち、「今後も民社協会・友愛連絡会・政策研究フォーラムが更に連携を深め、一丸となって国家の諸課題に取り組んでいきたい」との挨拶を行い、会は終了した。

常任幹事会開催

民社協会は、5月13日東京グランドホテルにて、常任役員会を開催した。

出席者は米澤会長、中野理事長、玉置理事長代理、田中専務理事、中田常任顧問、西村常任相談役、中井、今泉、名取の各副理事長、林事務局長の計10名

会議内容は以下の通りである。

報告事項

- ①会計監査の報告(二次) ②「政研21」の開催状況 ③『地方政治情報』改訂企画について ④「政治専科」(富士社会教育センター)について

協議事項

- 1) ブロック会議の開催について
- 2) 友愛連絡会との合同幹部会について
- 3) 新理念研究小委員会の設置について
- 4) 事務局体制について